

遺伝子組換え食品の安全性に関する リスクコミュニケーション

千葉県では、食品添加物、残留農薬、BSE(牛海綿状脳症)など食品の安全性に関することについて、専門家を招き講演会などを開催しています。

しかし、専門家の話は信頼性があるという意見がある一方、難しいという意見もあります。

また、食に関するアンケート調査では、約68%の方が遺伝子組換え食品について不安を感じているとの結果もあります。遺伝子組換え食品について「食べても安全なのか?」、「体調に影響はないのか?」または、「アレルギーの心配は?」などの不安や「遺伝子組換え食品の安全性は、どこでどのように確かめられているのか?」などの消費者の疑問について理解を深めることを目的として県民の言葉による情報発信を盛り込んだリスクコミュニケーションを行いました。

① リスクコミュニケーションとは… 食品の安全性について消費者を含む多くの関係者との間で情報の共有や意見交換を行うことです。

専門家の講演+県民の学習会



県民の学習会

少人数(17名)で専門家を囲み、遺伝子組換え食品について学習し、疑問なども明確にしながら、その後5~6人のグループに分かれ討議し、その結果をとりまとめました。

専門家の講演+県民の学習成果発表会



意見交換会

一般の方を対象とした意見交換会において、食品安全委員会遺伝子組換え食品等専門調査委員の講演の後、先に行ったグループ討議の結果をグループごとに発表しました。

学習会 グループ討議

まとめ

不安なこと

- ・遺伝子組換え技術で何が起きるかわからないこと。
- ・安全性に疑問を投げかける多くの実験・研究例が報告されていること。
- ・従来の品種改良とは違う。自然交配では絶対ありえないものを作り出すこと。
- ・生態系に及ぼす影響が心配であること。
- ・インターネットでは、批判が多いこと。
- ・自然界の掟を破っている。人為的であること。

要望

- ・表示制度が不十分である。
- ・表示をわかりやすくしてほしい。

理解できたこと

- ・毎日食べている食品と同じくらい安全な食品と確認されていること。
- ・自然界の食品は人類の経験上人体に悪影響がなく、遺伝子組換え食品も成分は自然界にある食品と同じタンパク質であること。
- ・遺伝子組換え食品はメリットもたくさんあること。

意見交換会の概要は、ホームページ「食の安全・安心電子館」に掲載されています。

食品に関する疑問、相談がありましたら、下記までお願いします。

最寄の保健所・食品衛生県民ダイヤル(県庁衛生指導課内) TEL043-221-6000

食の安全・安心電子館 http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/c_eisi/date/densikan/densikan_top.html

千葉県くまの食の安全・安心情報メール 会員登録

「食の安全・安心電子館」に掲載する食の安全・安心に係る最新情報を、メールでお知らせします。

食品の自主回収
情報配信中

アクセスしてメールマガジンのページから登録できます!

千葉県ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/index.html>

QRコードで簡単アクセス!

携帯電話でのご登録はこちら

問い合わせは

千葉県 健康福祉部 衛生指導課 食品安全対策室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 TEL043-223-2626 FAX043-227-2713 E-mail eisi2@mz.pref.chiba.lg.jp URL http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/c_eisi/index.html

食の安全安心 レポート



遺伝子組換え食品



世界の遺伝子組換え作物の作付け面積の推移



世界の遺伝子組換え農作物は、2008年には1億2,500万ヘクタールに到達。これは、我が国の農地面積の約27倍に相当し、世界の耕地面積(耕地+永年性作物)の約8%に相当。